

# 地域住宅モデルが完成

## 地域住宅モデルが完成

＝山根木材＝

広島と福岡地区で木造注文住宅を建設する山根木材（広島市、山根恒弘社長）は、環境をテーマに、広島市西区に新設された総合住宅展示場に同社としては4棟目のモデルハウスをオープンした。

### 100%国産材仕様に



座るライフスタイルを提案したリビングスペース

真壁造の外観で和の雰囲気を持つモデルハウスは「山ぶくじゅ」と命名され、プレハブ系が多い展示場ではひと際目立つ存在。構造は柱・梁に集成材を用いるメーターモジュールのMOKUキープ仕様で、接合部にハラテック21金物を使用した。柱は松集成材、土台

は松ムク防腐処理材（KD）、梁桁には米松と杉の異樹種集成材ハイブリッドビームを採用。1階リビングの天井を兼ねる大屋根のタルキには別注品の杉KD材を用いるなど徹底して国産材を使用。特に構造材は県産材にこだわりの、今年始まった広島県産材を使った住宅への補助制度の条

件を満たしている。杉の障子や柵板などの造作から建具、天井や押し入れ内部まで杉を、床材と枠材のほかに松を用いるなど木材はすべて国産材を使うこだわりのよう。長期優良住宅の認定基準をクリアし、CASB Eの最高評価のSランクを得ている。「エコロジカル素材である木材を外からも見えるように使った。日本の古い伝統と新しいライフスタイルを『座』というキーワードに込めて提案した」と山根社長。リビングダイニングには座ることをテーマに囲炉裏を設けるなど、洋風化した住宅が大半を占める展示場の現状に一石を投じる新たな試みを行っている。

今回のモデルハウスは国土交通省の地域住宅モデル普及推進事業の4棟のうちの1棟に採択され、県内で初めて完成したものの。



木と住まいの  
**山根木材株式会社**